

東日本ユニオン大宮 ラ・マヒストラル

JR東日本労働組合
大宮地方本部
発行責任者:渡辺 純
2019年2月13日 No.23

渡辺委員長発言に立つ!



2月9日、ホテルラングウッドにおいて「第6回中央委員会」が開催されました。会場には200名を超える組合員が結集し、2019春闘を中心とする当面の活動方針を満場一致で確立しました。

質疑では、渡辺執行委員長が中央委員として討論に参加し「乗務員勤務制度の見直し」に関する問題提起と「駅職場における遠隔操作」の問題点を発言しました。

<発言要旨>

「乗務員勤務制度の見直し」により、実乗務時間を7時間10分に近づけるとしている。乗務密度が高まることで「事故が起きやすくなるのではないかと危惧している。

大宮地本としても検証活動に取り組む。

駅の遠隔操作拡大に伴う問題点が、組合員より多数寄せられている。お客さまには「社員不在」と案内をしている中、宅配業者などの対応に苦慮していると聞く。

また、エルダー社員となっても遠隔操作を理由に退職の道を選ぶ社員もいる。



2019春闘総決起集会

2月24日(日) 12:30から
ホテルラングウッド
全組合員の結集を!